

金沢大学日本海域研究所報告／日本海域研究

第1号～第50号（1969～2019）総目次

【第1号】1969年3月31日発行⁽¹⁾

序 文

中川善之助：日本海域研究所報告の発刊にあたって…………… 1-2

市川 渡：日本海域研究所設置経過…………… 3-4

論 説

藤 則雄：日本海沿岸の海岸砂丘…………… 5-34

鮎野義夫・大村明雄：清風丸によって採取された日本海の底質柱状試料について（概報）…………… 35-38

短 報

熊木義房：金沢市周辺の早咲ツバキについての一考察…………… 39-41

田島外男：日本海域（特に北陸地方）における乳牛の飼養学的研究（予報）…………… 42

戸頃重基：北陸住民の精神的風土におよぼした日本海域の自然的環境に関する哲学…………… 43-45

要 約

藤 則雄：日本海地域の花粉化石と海岸砂丘の研究…………… 46-47

市川 渡：日本海底堆積物中の微化石（珪藻・珪質鞭毛虫）について…………… 47-49

益子帰来也：（1）日本海沿岸の汽水湖の陸水学的研究，（2）日本海沿岸の水質汚濁に関する研究…………… 49

秋山茂雄：日本海周域における単子葉無弁花類の植物分類地理学的研究…………… 50

里見信生：日本海周域における単子葉有弁花類の植物分類地理学的研究…………… 51-52

河合 功：日本海周域における蘇苔類の植物分類地理学的研究…………… 52-53

堀 克重：日本海域における海浜動物の生態学的研究…………… 53

木戸哲二・岸田嘉一・大崎晃三：日本海域における棘皮動物の生産性，日本海域における蠕形動物の生産性，
日本海域における海綿動物の生産性…………… 53-54

木村久吉：日本海海域の薬用資源の探究…………… 54-55

木村久吉：日本海海域の野鳥の研究…………… 55

木村久吉：石川県庄野生及び栽培サクラの研究…………… 55

石橋雅義・上田俊三・山本善一：浅海底土の採取と分析…………… 56

上田俊三・山本善一：能登産珪藻土の化学組成について…………… 57

松尾秀邦：日本海域周辺の新植代初期における古植物地理学的研究…………… 57-58

定塚謙二：日本海域における遡河性及び降海性魚類に関する生理学的研究…………… 58-59

西田義親：（1）日本海域の地汙りとその対策に関する研究，（2）日本海域の地盤の強度と特性に関する研究…………… 59

高瀬信忠：（1）日本海域河川の出水に関する研究，（2）日本海域河川の災害防止に関する研究，日本海域河
川の水資源に関する研究…………… 59-61

喜内 敏：日本海域における歴史的構造物の耐震研究…………… 61-62

柳場重正・川村満紀・大深伸尚：（1）石川県における海岸砂丘砂および山砂を碎石のコンクリート用骨材と
しての利用に関する研究，（2）北陸地方の気象特性と路床，路盤土に対するソイルセメント工法の
基礎的研究…………… 62-63

平井英二：日本海北方の農水産物の加工工程の最適化に関する研究…………… 64

増井経夫：日本海周域地域の歴史的社会的経済的研究と資料収集…………… 65

川口久雄：日本海域常民における古代信仰と説話唱導についての歴史的文学的研究—特に法華經・阿弥陀經
の唱導と白山・立山曼陀羅の絵解きを中心として—…………… 66-67

若林喜三郎：日本海々運史の研究—その概観と展望—…………… 67-69

資 料

鮎野義夫（編）：日本海域地学文献目録I，日本海底の地形，堆積物，構造，地球物理および日本海の発達史
に関する文献…………… 70-80

⁽¹⁾ 誌名「金沢大学日本海域研究所報告（英語誌名なし）」，発行所「金沢大学日本海域研究所」

記 事

金沢大学日本海域研究所設立趣意書	81
金沢大学日本海域研究所規程	81
金沢大学日本海域研究所運営協議会規程	82
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	83
金沢大学日本海域研究所所員名簿	83

【第2号】1970年3月31日発行

論 説

藤 則雄：能登・加賀海岸の海浜堆積物の供給と漂移—日本海沿岸の海岸砂丘（II）—	1-27
北陸珪藻研究グループ：日本海富山湾堆積物中の珪藻および珪質鞭毛虫の遺体—四方洋谷および生地海底—	29-60
寺田喜久雄・奥 清：石川県加賀地方における天然水中のヨウ素の分布	61-73
阪上正信・大沢真澄・北川志津子・杉浦秀昭・中西 孝：日本海底質柱状資料のX線回析、蛍光X線分析、放射化分析、および、 α 放射性同位体の放射化学分析	75-87
Isawo KAWAI und Nobuhira KUROSAKI: Über die Moosgesellschaften der Zwergbambus-Buchenwälder (Saso-Fagetum crenatae) am Berg Hakusan (2) Die Forschungsmethode von der Moosgesellschaft des Buchenwalds	89-124

報 告

金沢大学シベリア学術交流団（紘野義夫・米田昭二郎・小島和夫）：イルクーツクとノボシビルスクの印象—1969年夏のシベリアの旅から—	127-142
-------------------------------------------------------------------	---------

要 約

秋山茂雄：日本海周域産スゲ属植物の分類地理学的研究	143
里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究	144-145
河合 功：日本海周域における蘚苔類の植物分類地理学的研究	145-146

資 料

紘野義夫：日本海域地学文献目録I（補遺）	147-150
----------------------	---------

記 事

寄贈図書目録	151-153
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	153
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	154

【第3号】1971年3月31日発行⁽²⁾

論 説

市川 渡：日本海の高底表層から得た珪藻遺体（I）—清風丸によって採集されたコア標本—	1-34
藤 則雄・野村政治：加賀南部の洪積世中期南郷層の花粉学的研究	35-58
Tukasa HUKUSIMA, Takeru FUKUI und Isawo KAWAI: Die Kiefernforst-Gesellschaften der Hokuriku Region, Japan (1) Die Pflanzensoziologische Beobachtung der Kiefernforsten	59-66
高瀬信忠・山本忠勝・野村継男：日本海域流入河川の融雪出水に関する研究—信濃川支川柿川流域を対象として—	67-81
川口久雄：北陸地方における聖徳太子伝の説話画の絵解きについて	83-96

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究	97
--------------------------	----

記 事

寄贈図書目録	98-99
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	99
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	100

⁽²⁾ 英語誌名「Bulletin of the Japan Sea Research Institute, Kanazawa University」（第38号まで）

【第4号】1972年3月31日発行

論 説

- 市川 渡：日本海の海底表層から得た珪藻遺体（2）—清風丸によって採集されたコア標本—…………… 1-42
- 市川 渡：日本海大和堆試料中の珪質鞭毛虫類およびエブリア類…………… 43-56
- 田畑喜六：大和海嶺の形状と底質…………… 57-69
- Hikaru OZAKI und Isawo KAWAI: Die Kiefernforst-Gesellschaften der Hokuriku Region, Japan (2) Beobachtung über
die Sukzession auf Grund der schichtenförmigen Konstruktion…………… 71-100
- 高瀬信忠・野村継男：手取川流域における融雪出水に関する研究…………… 101-111
- 川口久雄：白山権現講と白山曼陀羅…………… 117-148

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究…………… 112

記 事

- 寄贈図書目録…………… 113-114
- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 114
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 115-116

【第5号】1973年9月1日

論 説

- 市川 渡：北陸海岸に沿う富山湾および日向湖の水底泥から得た珪質鞭毛虫類とエブリア類について—日本
海海底のものとの比較—…………… 1-15
- 高瀬信忠・野村継男・畑 時男：融雪流出への情報理論的アプローチに関する研究…………… 17-24
- 池森雅彦：生育環境ならびに生育度の相違に伴う海藻類の光合成色素の変化に関する研究Ⅰ．—第Ⅰ部 海
藻に含まれている光合成色素の抽出と分離，第Ⅱ部 海藻の生育環境と光合成色素—…………… 25-87
- 彦岐島地学研究グループ：彦岐島の地質と化石—第三系層序，象化石，魚類化石について—…………… 89-114
- 上野与一：加賀古陶—加賀中世の窯業について—…………… 115-130
- 川口久雄：立山曼陀羅と姥神信仰—敦煌本十王經画卷の投影—…………… 147-178

短 報

- 西田義親・八木則男・松村夏樹・二木幹夫：自然積雪（金沢）の工学的特性について…………… 131-137

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究…………… 139-140

記 事

- 寄贈図書目録…………… 141-143
- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 143
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 144-145

【第6号】1974年11月1日発行

論 説

- 池森雅彦：生育環境ならびに生育度の相違に伴う海藻類の光合成色素の変化に関する研究Ⅱ．第Ⅲ部 海藻
の生長と生殖に伴う光合成色素の変化…………… 1-41
- 市川 渡：日本海底の表層から得た珪質鞭毛虫の両遺骸，特にこれらの混合状態ならびに地理的分布について
…………… 43-60
- 谷口正成：町野川水系の底生動物相…………… 61-87
- 安達正雄・谷本 明：日本海域における太陽エネルギーの利用について…………… 89-102
- 上野与一：南加賀の古代製鉄址（タタラ）について…………… 103-117
- 斉藤晨二：ロシア極東地方と江戸時代の日本人の漂流者のルート…………… 119-124
- 橋本芳契：加賀藩政期の社会教育—特に「婦人養草」に現われた道徳思想について—…………… 140-158
- 川口久雄・島田昌彦（資料校訂 石破 洋）：越前国丹生郡法雲寺所蔵『道士勝負記』とその絵解きについて
〔附録〕越中国婦負郡聞名寺所蔵『正法輪蔵』残巻…………… 159-168
- 森田 悌：古代の村落について（一）—東大寺北陸庄園を素材に—…………… 169-174

短 報

西田義親・八木則男・大島理喜夫：陶器（九谷焼）に用いる石川県産粘土の土質工学的研究…………… 125-132

記 事

寄贈図書目録…………… 133-135

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 135-136

金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 136-138

【第7号】1976年3月25日発行

論 説

平井賢一・田中 晋：能登半島における淡水魚の分布…………… 1-18

谷口正成：能登半島におけるヒゲナガカワトビゲラ科 *Stenopsychidae* の分布について…………… 19-22

高瀬信忠・能登勇二：小矢部川流域における融雪出水に関する研究…………… 23-30

高瀬信忠・布本 博・星道 宣：登川流域（信濃川水系）における粗度係数と河床変動に関する研究…………… 31-40

八木 正：北陸所在大企業の労務構成（上）－機械工業の事例－…………… 41-52

川口久雄・島田昌彦：白山宮の田楽と加賀藩の芸能（I）…………… 96-110

森田 悌：古代の村落について（二）－東大寺北陸庄園を素材に－…………… 111-118

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1973, 1974）…………… 53-56

1975年金沢大学訪ソ学術交流団報告

金沢大学訪ソ学術交流団（豊田文一・竹林松男・鮎野義夫・堀 尚一・西岡敬二・野崎勇治・清原岑夫）…………… 57-86

記 事

寄贈図書目録…………… 87-89

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 90

金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 90-92

【第8号】1976年12月25日発行

論 説

谷口正成：大谷川水系の底生動物相…………… 1-13

大村明雄：生物源炭酸塩の酸素および炭素同位体比の測定について…………… 15-25

藤井昭二：宇治海進（宇治貝層）の問題…………… 27-35

柳場重正・小泉 徹・長久太郎：石川県能登海浜有料道路における気象特性－とくに風と飛砂について－…………… 37-60

高瀬信忠・能登勇二：融雪機構および出水に関する一考察…………… 61-68

高瀬信忠・布本 博・能登勇二：登川流路工（信濃川水系）の水理模型実験に関する研究（第1報）…………… 69-90

安達正雄：白山大地震により埋没した「帰雲城」と「木舟城」…………… 91-103

吉岡康暢：平安前期の地方政治と国分寺（上）－加賀国分寺をめぐる問題－…………… 117-150

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1974, 1975）…………… 105-108

記 事

寄贈図書目録…………… 109-111

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 111-112

金沢大学日本海域研究所運営委員会委員・運営委員会幹事・編集委員会委員…………… 112

金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 113-114

【第9号】1977年10月31日発行

論 説

高瀬信忠・宇治橋康行：山地小流域河川の流出解析に関する研究－富山県の小流域河川を対象として－…………… 1-8

安達正雄：白山大地震により埋没した「帰雲城」と「木舟城」第3報 内ヶ島氏系図と石黒氏系図の研究…………… 9-25

斉藤晨二：東シベリア，沿海州の中国系住民－その消長を追って－…………… 27-48

八木 正：北陸所在大企業の労務構成－機械工業の事例－（下）…………… 49-64

吉岡康暢：平安前期の地方政治と国分寺（下）－能登国分寺をめぐる問題－	77-105
橋本芳契：北陸地方における仏教と産業－「牛馬養草」に現れた慈悲道について－	107-112
川口久雄：日本海域における中世絵解きの一資料－天壽國曼荼羅繡張出現説話－	113-124

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1976）	65-68
--------------------------------	-------

記 事

寄贈図書目録	69-71
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	72
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員・運営委員会幹事・編集委員会委員	72-73
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	74-75

【第10号】1978年10月31日発行

論 説

矢島孝昭：日本海の潮間帯生物群集に関する基礎的研究 I. 石川県における帯状分布の概況	1-27
藤 則雄・小林令子：石川県河北潟底堆積物の花粉学的研究	29-51
藤 則雄・榎本宏美：能登半島新第三紀珪藻泥岩層の堆積環境	53-102
高瀬信忠・木村政弘・畑 時男・田村徳郎：黒部川流域における地形、地質、降雨因子と土砂崩壊との関係 についての統計学的研究	103-116
安達正雄：白山大地震により埋没した「帛雲城」と「木舟城」 第5報 両城主と一向一揆	117-127
原田行造：延昌僧正をめぐる加賀国関係の伝承－その生い立ちと補陀落寺縁起・弓継説話の考察－	159-182

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1977）	129-131
--------------------------------	---------

記 事

日本海域研究所報告総目次（第1号～第9号）	133-139
寄贈図書目録	140-144
金沢大学日本海域研究所規程	145-146
金沢大学日本海域研究所運営協議会規程	147
金沢大学日本海域研究所細則	148-150
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	151
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	151-152
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	152
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	153-155

【第11号】1979年10月31日発行

論 説

上田益造・谷村喜代志：金箔の展延機構に関する研究	1-24
黒部利次・今中 治・小林茂彦：箔打紙の力学的性質－金箔展延機構に関する基礎研究－	25-42
黒部利次・鈴木和夫・杉田忠彰：加賀象嵌技術の基礎研究－細線打ち込みの機械化－	43-51
安達正雄：北陸における太陽エネルギーの利用（1979）－その現状と展望－	53-71
西田義親・佐藤豊志：石川県加賀市および滋賀県湖北地域の土の物理的指数と力学的常数の関係	73-80
矢島孝昭・新谷 力・又多政博：能登九十九湾周辺海浜域におけるムツサング <i>Rhizopsammia minuta mutsuensis</i> の生息状況	81-91
西村 登・前田正紀・河浪 繁・大串龍一：能登富来川・大海川の水生昆虫相	93-104
藤 則雄・加納弘子：石川県河北潟底の第四紀末堆積物の花粉学的研究	105-127
Isawo KAWAI: Die Kiefernforst-Gesellschaften der Hokuriku Region, Japan - (4) Eine Studie zur Sukzession auf Grund der schichtenförmigen Konstruktion in dem Gebiet der Stadt Ogi	129-142

短 報

藤井昭二・赤木三郎・岡田昭明・大西郁夫・阿角芳郎・西田史朗・岡崎美彦・桂 郁夫・竹村利夫：KT79-6 東大・海洋研・淡青丸航海 山陰・北陸の予察的記録	143-149
---------------------------------------------------------------------------------	---------

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1978）	151-156
--------------------------------	---------

研究例会報告要旨

金沢大学日本海域研究所研究例会報告要旨第1回～第4回（1978～1979）

鮎野義夫：日本海海底の地学的諸問題	158-159
佐口 透：東北アジアの領土問題	159
矢島孝昭：日本海の潮間帯とそこに棲む生物達	159-160
高瀬信忠：日本海域の河川・水文学的諸問題	160-162
和座一清：温泉村落と温泉の支配—石川県温泉地を中心として—	162-163
仁宮哲雄：日本村落の社会体系—比較社会学の観点から—	163-166
大川勝徳：欧州と日本の庭園	166-167
中西 孝：日本海及び隣接海域海水中のプルトニウム	167-168
川村満紀：脱硫酸石膏の利用及びアルカリ骨材反応について	168-169
柿本典昭：日本海漁業と200海里問題	170-172

記 事

寄贈図書目録	73-175
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	176
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	176-177
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	177
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	178-180

【第12号】1980年11月30日発行

論 説

矢島孝昭：日本海の潮間帯生物群集に関する基礎的研究 IV. 男鹿半島の夏季における垂直分布	1-17
平井賢一：石川県の淡水魚類—1. 大聖寺川・動橋川・梯川—	19-31
大串龍一・徳本 洋・江口元章：能登七ツ島の陸上動物相	33-48
松浦信臣：能登半島の珠洲市鶴島地区および七尾市八幡地区から産出した2つの海成段丘貝層について	49-58
黒部利次・坂谷勝明・今中 治：金箔の展延機構に関する一考察	59-66
北浦 勝：北陸の被害地震と金沢における震度	67-77
高瀬信忠・広部英一：福井平野における被圧地下水の水収支に関する研究	79-89

短 報

中橋典子・大串龍一：石川県におけるカヤネズミ採集記録	91-92
----------------------------	-------

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1979）	93-95
--------------------------------	-------

翻 訳

イ・イ・ベルセニエフ、イェ・ベ・レリコフ著、鮎野義夫・桑野幸夫訳：日本海の地質図	97-104
------------------------------------------	--------

研究例会報告要旨

金沢大学日本海域研究所研究例会報告要旨第5回～第7回（1979～1980）

安達正雄：白山大地震と帰雲城と木舟城について	106-107
寺田喜久雄：海洋における放射性核種の定量と重金属元素の挙動	108-109
中藤康俊：北陸における農村問題と農村開発	109-111
小林 昭：北陸地域における公共投資の動向	111
原田行造：百万石のかなた—平安時代における能登国国守の横顔—	111-113
広井美邦：西南日本と朝鮮の地質学的相互関係—日本海の成因論—	113-114
河合 功：陸上植物の起源と進化	115-117
石田 啓：円柱に作用する波力に関する基礎的及び応用的研究	117-118
黒部利次・鈴木和夫・村田忠彰：加賀象嵌とその技術的改良の試み	118
喜内 敏：黒部川・愛本橋	118-122
上田益造：金箔の製造工程と展延機構について	122-124

大串龍一：北陸地方の河川生物群集の特徴	124-126
豊田文一：奇病の発掘	126-129

記 事

金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿（追加）	130
-------------------------	-----

【第 13 号】1981 年 11 月 30 日発行

論 説

安達正雄：北陸における太陽エネルギー利用の進歩	1-23
高瀬信忠・布本 博・立石 晶：登川流路工（信濃川水系）の水理模型実験に関する研究（第 2 報）	25-42
黒部利次・鈴木和夫・杉田忠彰：加賀象嵌技術の基礎研究—象嵌溝加工の機械化—	43-53
矢島孝昭：セツ島大島および七尾湾南湾の潮間帯	55-65
西村 登：円山川中流域におけるヒゲナガカワトヒラ科 2 種の分布	67-78
Shoji FUJII : Coastal Erosion at Hokuriku Province, Central Japan	79-87
佐々木達夫：金沢城跡の発掘—1977 年—	89-108
上野善道：松江市方言のアクセント—付属語を中心に—	109-136
橋本芳契：中田邦造の生涯教育思想論—特に「宗教読書」について—	137-146
原田行造：金沢と芋掘長者伝承—藤五郎伝説の特徴と成長過程—	148-166

短 報

千地万造・岡本和夫・山内靖喜・紺田 功・石井久夫・井口博夫・林田 明・石垣武久：KT-79-8 東大・海洋研・淡青丸航海 対馬東方海域の予察的記録	167-169
---------------------------------------------------------------------------	---------

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1980）	171-176
--------------------------------	---------

研究例会報告要旨

金沢大学日本海域研究所研究例会報告要旨（1980）

里見信生：石川県現存植生と原植生	178-180
関口秀雄：土のレオロジーとその応用	180-190
橋本哲哉：金箔箔工業の歴史と労働	181-182

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	183
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	183-184
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	184
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	185-188

【第 14 号】1982 年 11 月 30 日発行

論 説

市川 渡：日本海域における微化石について	1-14
平井賢一：石川県の淡水魚類 2. 犀川・浅野川	15-26
Isawo KAWAI : Die Kiefernforst-Gesellschaften der Hokuriku Region, Japan (5) Eine Studie zur Sukzession auf Grund der schichtenförmigen Konstruktion in dem Gebiet Shimo-ichinose	27-36
大串龍一・佐野 明：河北潟干拓地のノネズミ相（第 5 報）—とくにドブネズミ個体群の年変動—	37-52
西村 登：円山川におけるヒゲナガカワトビケラ属 2 種の分布—とくに共存状況と生息場所について—	53-69
高瀬信忠・布本 博・宇治橋康行：登川流路工（信濃川水系）の水理模型実験に関する研究（第 3 報）	71-82
谷村喜代志・上田益造・北川和夫：金箔の透過電子顕微鏡による考察	83-89
川村満紀・鳥居和之・柳場重正・助田佐右衛門：陶土を利用したグラウト用モルタルの諸性質	91-106
橋本芳契：暁鳥敏序説—金沢大学暁鳥文庫とその思想的意義—	107-119

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1981）	121-124
--------------------------------	---------

研究例会報告要旨第 9 回（1982）

大場忠道：日本海のご環境	125-128
--------------	---------

記 事

寄贈図書目録	129-133
金沢大学日本海域研究所規程	134-135
金沢大学日本海域研究所運営協議会規程	136
金沢大学日本海域研究所細則	137-139
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	140
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	141
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	141
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	142-144

【第15号】1983年10月30日発行

論 説

矢島孝昭・山口昌宏：能登九十九湾の潮間帯域にみられるヤドカリ類とその宿貝利用について	1-14
平井賢一・角田健治：石川県の淡水魚類3. 河北潟とその流入河川	15-32
杉本幹博：金沢市浅野川流域の七曲層の岩相層序区分—北陸新第三系七曲層の研究 [III] —	33-47
高瀬信忠・布本 博・宇治橋康行：登川流路工（信濃川水系）における湾曲部と合流部の水理特性に関する実験的研究	49-65
橋本芳契：鈴木大拙における禅と念仏—世界宗教への課題性を含めて—	126-111
川口久雄・山岸 共：白山修験の諸様相について	144-128

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1982）	67-69
--------------------------------	-------

資 料

上野善道・新田哲夫：金沢方言の5 モーラ名詞のアクセント資料	71-107
--------------------------------	--------

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	109
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	110
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	110

【第16号】1984年10月31日発行

論 説

高瀬信忠・布本 博・宇治橋康行・河口多吉：手取川ダム群の河床変動に及ぼす影響に関する研究	1-13
米田昭二郎：輪島の地下水覚書—汀線移動と水位変化—	15-27
杉本幹博・豊島真治：土山凝灰質層と七曲層の岩相層位学的対比—北陸新第三系七曲層の研究 [IV] —	29-43
矢島孝昭・清水弘明：日本海の潮間帯生物群集に関する基礎的研究 VII. 飛鳥の垂直分布	45-58
友田淑郎：琵琶湖の生物相—湖の最近の地史へのアプローチ—	59-91

短 報

平井賢一・田中 晋・加藤文男：大野盆地に生息する陸封型イトヨの分布の現状	93-98
Motoaki EGUCHI and Koji NAKAMURA: Sex ratio of an Odontocerid Caddisfly, <i>Perissoneura paradoxa</i> MCLACHLAN (TRICHOPTERA), Estimated from the Frequency Distribution for the Size of Pupal Cases	99-103

資 料

上野善道・新田哲夫：金沢方言の名詞のアクセント資料—6～8 モーラ語—	105-146
-------------------------------------	---------

要 約

里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1983）	147-150
--------------------------------	---------

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	151
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	152
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	152
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	153-156

【第 17 号】1985 年 10 月 31 日発行

論 説

- 大村明雄：日本海海底堆積物中のウランおよびトリウム同位体組成：KH82-4-17 ピストンコア堆積物の場合…… 1-12
Masao MINATO, Mitsuo HUNAHASHI, Seiji HASHIMOTO, Takeo BAMBA, Yoshio KASENO, Hiroshi OKADA,
Jun WATANABE, Makoto KATO and Takamura TSUCHIYA : Crustal Structure of the Japanese Islands,
Japan Sea, Coastal Part of the Western Pacific and Philippine Sea …………… 13-42
杉本幹博：“黒壁火砕岩類”の層序的位置について（2）—北陸新第三系七曲層の研究 [V] — …………… 43-57
大串龍一：能登七ツ島大島のドブネズミ *Rattus norvegicus* について …………… 59-66
富樫一・谷田一三：トンネル内に侵入した昆虫類 第 4 報 トビケラ類—石川県鶴来町における— …………… 67-72
石田 啓・梅下浩樹・長原久克・浦 良一：石川県千里浜海浜の侵食状況調査と養浜 …………… 73-97
高瀬信忠・布本 博：手取川流域における流送土砂量の推定に関する研究 …………… 99-106
橋本芳契：越中砺波地方における眞宗と修験道—香月院『道宗心得講』の特色と意義— …………… 107-132
八木 正：北陸地方の工業化に伴う就業構造と地域社会の変化 …………… 133-150

資 料

- 上野善道・新田哲夫：金沢方言の名詞のアクセント資料—4 モーラ語（1）— …………… 151-201

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1984） …………… 203-208

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿 …………… 209
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿 …………… 210
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿 …………… 210
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿 …………… 211-214

【第 18 号】1986 年 10 月 31 日発行

論 説

- 大串龍一・徳本 洋：舩倉島・七ツ島の陸上動物相 …………… 1-19
矢島孝昭・佐野 修・岡本 武・白井芳弘・新谷 力・又多政博：能登九十九湾周辺海浜域におけるキクメ
イシモドキ *Oulastrea crispata* (LAMARCK) の生態分布 …………… 21-36
富樫一：犀川中流域の河原の地上性甲虫類 …………… 37-42
依田清胤・鈴木三男：能登半島真脇遺跡より出土した自然木の樹種 …………… 43-68
松浦信臣・下山正一：石川県河北低地の自然貝層 …………… 69-78
北浦 勝・宮島昌克・北島 孝：1985 年の能登半島沖地震に関するアンケート調査—震度分布と地盤との関
係及び住民の対応について— …………… 79-105
高瀬信忠・広部英一・加藤哲男：芝原用水の設立と変遷 …………… 107-118
岡部匠一：大黒屋光太夫とラックスマン父子—第 1 回帝政ロシア遣日使節— …………… 119-147

短 報

- 森田 悌：北陸道伊神駅と渡戸 …………… 149-154

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1985） …………… 155-156

資 料

- 定塚謙二・大串龍一・平井賢一：石川県陸水生物学関係資料 …………… 157-175
上野善道・新田哲夫：金沢方言の名詞のアクセント資料—4 モーラ語（2）— …………… 177-236

特別報告

- 貞末堯司・石崎俊哉・前田清彦：金沢城の発掘 …………… 237-325

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿 …………… 327
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿 …………… 328
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿 …………… 328
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿 …………… 329-332

【第 19 号】1987 年 10 月 31 日発行

論 説

- 藤 則雄：新潟県縄文時代寺地硬玉遺跡の古環境解析…………… 1-22
- 粕野義夫・山田一雄・中西信弘：能登半島珠洲市中田の石膏鉱床と周辺の地質…………… 23-36
- 杉本幹博：“黒壁火砕岩類”の層序的位置について（4）—北陸新第三系七曲層の研究〔VII〕—…………… 37-49
- 紙谷 威・米田昭二郎・山崎 豊：岩間噴泉塔群の塔形成過程と泉質の化学的成分に関する調査研究…………… 51-71
- 宮島昌克・北浦 勝・野原徳博：金沢市における地震危険度グラフィックマップシステムに関する研究…………… 73-84
- 高瀬信忠・広部英一：芝原用水の土木史的評価…………… 85-98
- 多田千代：北陸における寝具の吸湿と透湿…………… 99-121
- 橋本和幸・交野正芳・泉 琉二・石原多賀子・西村雄郎：定住にみる地域社会の構造と変動—能登島町民および他出者調査から—…………… 123-151
- 橋本芳契：嵯島敏論序説—北陸・東海両地方における真宗仏教，特に大谷派教学の近代的展開とその思想的特色について—…………… 153-179
- 平口哲夫：石川県能都町真脇遺跡出土イルカ第 1 頸椎をめぐる諸問題…………… 181-206

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1986）…………… 207-209

資 料

- 高瀬信忠・広部英一：九頭竜川の洪水関係資料…………… 211-236

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 237
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 238
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 238
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 239-242

【第 20 号】1988 年 10 月 31 日発行

論 説

- 嶋倉巳三郎・藤 則雄：能登半島真脇遺跡からの加工木の包含層と樹種…………… 1-32
- 大串龍一：河北潟干拓地における小哺乳類個体群の 1976～1985 年の 10 年間の動き…………… 33-47
- 富樫一次：鹿島の森の昆虫相…………… 49-79
- 高順一郎・富樫一次：鹿島の森のクモ相…………… 81-92
- 中川登美雄・千地万造：石川県加越地域の中新統から産出した浮遊性有孔虫化石…………… 93-110
- 高瀬信忠・広部英一：芝原用水の計画設計と施設管理の現況および地域住民の利用意識—芝原用水の土木史的再評価—…………… 111-130
- Shoichi OKABE: The Russian Language in England - Discovery, Development and Decline -…………… 131-155

資 料

- 上野善道：青森市方言 4 モーラ体言のアクセント…………… 157-190
- 橋本芳契：西田幾多郎の生涯とその顕彰運動—「西田博士顕徳会」の社会的意義—…………… 191-214

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 215
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 216
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 216
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 217-220

【第 21 号】1989 年 10 月 31 日発行

論 説

- 藤 則雄：金沢市視の中新世砂子坂層の層位学的・古生物学的・年代学的研究…………… 1-14
- 藤 則雄・鈴木三男：金沢市視の中新世砂子坂層からの植物化石…………… 15-45
- 杉本幹博・林千代子：“犀川撓曲帯”の地質構造—北陸新第三系七曲層の研究〔IX〕—…………… 47-66
- 富樫一次：珠洲市徳保八幡神社周辺の昆虫相…………… 73-76

【第 19 号】1987 年 10 月 31 日発行

論 説

- 藤 則雄：新潟県縄文時代寺地硬玉遺跡の古環境解析…………… 1-22
- 鮎野義夫・山田一雄・中西信弘：能登半島珠洲市中田の石膏鉱床と周辺の地質…………… 23-36
- 杉本幹博：“黒壁火砕岩類”の層序的位置について（4）—北陸新第三系七曲層の研究 [VII] —…………… 37-49
- 紙谷 威・米田昭二郎・山崎 豊：岩間噴泉塔群の塔形成過程と泉質の化学的成分に関する調査研究…………… 51-71
- 宮島昌克・北浦 勝・野原徳博：金沢市における地震危険度グラフィックマップシステムに関する研究…………… 73-84
- 高瀬信忠・広部英一：芝原用水の土木史的評価…………… 85-98
- 多田千代：北陸における寝具の吸湿と透湿…………… 99-121
- 橋本和幸・交野正芳・泉 琉二・石原多賀子・西村雄郎：定住にみる地域社会の構造と変動—能登島町民および他出者調査から—…………… 123-151
- 橋本芳契：咄島敏論序説—北陸・東海両地方における真宗仏教，特に大谷派教学の近代的展開とその思想的特色について—…………… 153-179
- 平口哲夫：石川県能都町真脇遺跡出土イルカ第Ⅰ頸椎をめぐる諸問題…………… 181-206

要 約

- 里見信生：日本海周域における植物分類地理学的研究（1986）…………… 207-209

資 料

- 高瀬信忠・広部英一：九頭竜川の洪水関係資料…………… 211-236

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 237
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 238
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 238
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 239-242

【第 20 号】1988 年 10 月 31 日発行

論 説

- 嶋倉巳三郎・藤 則雄：能登半島真脇遺跡からの加工木の包含層と樹種…………… 1-32
- 大串龍一：河北潟干拓地における小哺乳類個体群の 1976～1985 年の 10 年間の動き…………… 33-47
- 富樫一次：鹿島の森の昆虫相…………… 49-79
- 高順一郎・富樫一次：鹿島の森のクモ相…………… 81-92
- 中川登美雄・千地万造：石川県加越地域の中新統から産出した浮遊性有孔虫化石…………… 93-110
- 高瀬信忠・広部英一：芝原用水の計画設計と施設管理の現況および地域住民の利用意識—芝原用水の土木史的再評価—…………… 111-130
- Shoichi OKABE: The Russian Language in England - Discovery, Development and Decline…………… 131-155

資 料

- 上野善道：青森市方言 4 モーラ体言のアクセント…………… 157-190
- 橋本芳契：西田幾多郎の生涯とその顕彰運動—「西田博士顕徳会」の社会的意義—…………… 191-214

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 215
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 216
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 216
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 217-220

【第 21 号】1989 年 10 月 31 日発行

論 説

- 藤 則雄：金沢市視の中新世砂子坂層の層位学的・古生物学的・年代学的研究…………… 1-14
- 藤 則雄・鈴木三男：金沢市視の中新世砂子坂層からの植物化石…………… 15-45
- 杉本幹博・林千代子：“犀川撓曲帯”の地質構造—北陸新第三系七曲層の研究 [IX] —…………… 47-66
- 富樫一次：珠洲市徳保八幡神社周辺の昆虫相…………… 73-76

佐伯芳造・富樫一：富士写ヶ岳のショウジョウバエ相	77-82
廣部英一・加藤哲男・高瀬信忠：福井市における河川水害と水害対策に関する住民意識	83-98
多田千代・高野成子・長坂鉄夫：低温・多湿環境下における筏構造敷寝具内の温度・相対湿度・水蒸気圧	99-118
橋本芳契：北陸地方真宗異安心考序説（1）聖徳太子より親鸞への正信相続	119-142
新田哲夫：金沢方言の動詞のアクセント	149-199

短 報

Toshikatsu YASUNO: A Pliocene Cyprinid Fish from the Ushigatani Formation, Fukui Prefecture, Central Japan	67-71
森田 悌：肅慎と靺鞨	143-148

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	201
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	202
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	202
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	203-206

【第22号】1990年10月31日発行

論 説

大村明雄・大沢 勉：日本海海底堆積物中のウランおよびトリウム同位体組成：南部の3ピストンコア堆積物間の比較	1-16
藤 則雄：能登の中新世“内浦行延植物化石群”	17-47
能城修一・鈴木三男：福井県鳥浜貝塚から出土した自然木の樹種と森林植生の復元	63-151
加藤文男：福井県の水域にみられるサクラマス生活史に関する2, 3の知見	153-171
廣部英一・高瀬信忠：大野盆地における小字名と旧河道の関係について	177-187
伊藤 悟：金沢都市圏におけるパーソントリップの流動パターン	189-205
橋本芳契：北陸地方真宗異安心考序説（2）近世異義者所論顛末と思想的展開	207-228
新田哲夫：金沢方言の複合動詞のアクセント	229-286

短 報

Toshikatsu YASUNO: On a Fossil Dragonfly <i>Ictinogomphus</i> from the Miocene Ito-o Formation, Fukui Prefecture, Central Japan	49-54
中村健二：金沢市の第三紀中新統医王山累層よりヤシの材化石の発見	55-61
大串龍一：河北潟干拓地へのアカネズミの侵入	173-176

翻 訳

鮎野義夫（抄訳）：日本海底の構造と発達史（イ・イ・ベルセニエフ，1987）	287-305
---------------------------------------	---------

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	307
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	308
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	308
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	309-312

【第23号】1991年10月31日発行

論 説

藤 則雄・多田千代・張江和子・張江潤子：能登・加賀における「洗い場」の地形学的・地質学的特徴	1-29
藤井昭二・邑本順亮・武沢 正：富山湾庄海底谷に投棄されたヘドロについて	31-49
Toshikatsu YASUNO: Fossil Pharyngeal Teeth of Cyprinids from the Early Miocene Atsumi Formation, Yamagata Prefecture, North East Japan	51-58
高木義雄・寺田喜久雄：能登半島中央部に分布する池水の水質に対する海塩粒子の寄与	59-76
加藤文男：福井県の水域に分布するアマゴの形態と生態	91-104
多田千代・多田 香・張江和子・張江潤子・藤 則雄：「川辺の洗い場」調査－能登北部・手取川流域の「洗い場」の実態－	107-135
貞末堯司編，金沢大学考古学研究室：阿弥陀菰遺跡の発掘－1990年－阿弥陀菰遺跡発掘調査報告－	137-259

橋本芳契：西田哲学における真宗仏教の意義―「場所的倫理と宗教的世界観」の一考察―	261-285
Shoichi OKABE: Shakespeare in the Soviet Union – Portraits of the Scholars	287-318
鹿島正裕：環日本海諸国交流の現状と課題	359-368
伊藤 悟：金沢都市圏における日常生活圏の空間構造	369-388
中村健二：金沢市の郊外における伝承地名	389-431

短 報

大串龍一：アムール川より羽化するカゲロウを狩るスズメバチ	105-106
米田昭二郎：離島・舩倉島における地下水汚染とその変遷	77-83
日吉芳郎：海藻ソルアラメを教材として用いた化学教育	85-90

資 料

上野善道：見島方言の4モーラ体言のアクセント資料	319-357
--------------------------	---------

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	433
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	434
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	434
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	435-438

【第24号】1992年10月30日発行

論 説

柄沢宏明・中川登美雄：福井県及び石川県南部から産出する中新世大型甲殻類化石	1-17
東 洋一・杉森辰次・山田一雄・小島敏弘・竹山憲一：福井県和泉村に分布する手取層群から2つの恐竜足 印化石について	19-33
加藤文雄：九頭竜川水系のイワナの形態と生態	35-47
平井賢一：手取川扇状地における淡水魚の減少傾向	49-62
中村健二：金沢市銚子町の歴史的・地理的固有性に関する一考察	75-81
矢ヶ崎孝雄：北陸における猪害防除の研究（一）	83-117
伊藤 悟：パーソントリップ調査からみた金沢都市圏の居住地域構造（II）	119-132
橋本芳契：鈴木大拙論序説―禅仏教 Zen Buddhism の思想的展開―	141-156
上野善道：見島方言の付属語のアクセント	157-167
岡部匠一：Futabatei Shimei（二葉亭四迷：1864～1909）―Master of Russian Language―	169-186
Yukio KAMONO: Some New Problems of Local Self-Government in Hokuriku Region	187-194

短 報

森田 悌：古代加賀国の駅制	133-140
---------------	---------

資 料

富樫一次・高順一郎：焼畑の節足動物相（第4報）―小松市小原地区の焼畑の昆虫相とクモ相―	63-73
---------------------------------------------	-------

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	195
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	196
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	196
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	197-200

【第25号】1993年10月29日発行

論 説

藤 則雄・長谷川有里・中嶋正志：金沢平野河北潟の後氷期堆積物の古地磁気変動	1-13
杉本幹博・長谷川寛：“黒壁火砕岩類”の層序的位置について（5）―北陸新第三系七曲層の研究 [X] ―	15-33
西村 登・角 敬：島根県斐伊川上流の底生動物相	47-61
石原一彦・大串龍一・長岡郁子：金沢城跡における筒孔営巣性のハチ類の生態	63-69
加藤文男：九頭竜川水系のイワナの初期生活史	71-82
辻本哲郎：手取川扇状地区間の河原の植物群落と河道特性	83-99

石田保之：金沢における五十肩のためのリズム棒体操の実施効果についてー日本海域における新運動療法に関する研究ー	101-114
黒部利次・廣崎憲一：原子間力顕微鏡による澄打工程の金箔の観察と評価	115-123
橋本芳契：鈴木大拙の宗教思想論ー「日本的靈性」の探究ー	125-150
Shoichi OKABE: The First Japanese in the Land of Rus	151-159
上野善道：山形県大島方言のアクセントの類別体系	161-183
矢ヶ崎孝雄：北陸における猪害防除の研究（二）	185-195
安田 忍：第三セクター鉄道の経営と財務会計ーのと鉄道株式会社を事例としてー	197-215
徳前元信：北陸地域の企業の会計処理選択	217-234
短 報	
富田幸光・安野敏勝：福井市西部の国見累層（中新世）より発見された長鼻類化石とその意義	35-45
資 料	
松村 敏：戦後北陸化合繊維物業における労働力と労働市場ー石川県根上町・松崎織物（株）の事例を中心にー	235-255
記 事	
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	257
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	258
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	258
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	259-262
【第 26 号】1995 年 2 月 7 日発行	
論 説	
藤 則雄・磯村朝次郎・高島麻衣子・邑本順亮：男鹿半島五里合における完新世の古環境解析	1-35
富樫一次・大島和博：石川県農業短期大学付属実験農場のブドウ園のゴミムシ相	37-42
杉本幹博・高橋秀和：「黒壁火砕岩類」の層序的位置について（6）ー北陸新第三系七曲層の研究 [XI] ー	43-63
池本敏和・松川晃之・北浦 勝・宮島昌克：1993 年能登半島沖地震における被害と地盤特性	65-73
黒部利次・廣崎憲一：原子間力顕微鏡（AFM）による箔打工程の観察と評価	75-86
橋本芳契：西田幾多郎の宗教論序説ー「善の研究」からー	87-110
上野善道：宇部市方言の複合名詞のアクセント（1）	111-143
記 事	
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	145
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	146
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	146
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	147-150
【第 27 号】1996 年 3 月 29 日発行	
論 説	
杉本幹博：「模式地」における砂子坂層の岩相層序ー北陸新第三系砂子坂層の研究 [V] ー	1-15
塚脇真二・デバスリ チャタリジ：富山深海長谷上流部における海底柱状試料の堆積相	17-38
富樫一次：兼六園内のサクラ類に虫こぶを形成するアブラムシ類	39-43
富樫一次・浅野能扶子：兼六園のアリ相	45-48
杉本幹博・森 郁夫：匠王山北麓の地すべり構造ー北陸新第三系七曲層の研究 [XII] ー	49-67
高瀬信忠・布本 博：橋脚周辺の河床洗掘と水理特性に関する研究	69-81
Shoichi OKABE: Nakamura Hakuyo (1890-1974) Master of Russian Language – Translator of Tolstoy & Chekov -	83-113
上野善道：宇部市方言の複合名詞のアクセント（2）	115-152
鴨野幸雄・内野伸之：北陸地区における情報公開実施状況	153-170
飯島泰裕：中国東北地方の情報通信動向と北陸の企業進出	171-188
記 事	
金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	189

金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	190
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	190
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	191-194

【第 28 号】1997 年 3 月 27 日発行

岡田 晃（金沢大学長/日本海域研究所長）：「日本海域研究所報告」の発行にあたって

論 説

石田 啓・高地 健・大貝秀司・斉藤武久：波浪エネルギー抽出装置の開発に関する研究ー波力水車とリニアクランクの開発ー	1-12
Shinji TSUKAWAKI, Takahiro KAMIYA, Michio KATO, Takeshi MATSUZAKA, Hiroshi NARAOKA, Koichi NEGISHI, Hirokazu OZAWA and Ryoshi ISHIWATARI: Preliminary Results from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT95-14 Leg 2 in the Southern Marginal Area in the Japan Sea – Part I: Sediments, Benthic Foraminifers and Ostracodes –	13-43
塚脇真二・神谷隆宏・加藤道雄・西川政弘・大久保弘・小沢広和・清水 徹・山本裕雄・大村明雄・高山俊昭：模式地における橋脚建設にともない出現した更新統大桑層の新露頭について	45-63
Toshikatsu YASUNO: Fossil Pharyngeal Teeth of Cyprinid from the Late Pleistocene in Fukui Prefecture, Central Japan	65-73
米田昭二郎・関崎正夫：化学マッチの歴史的研究 第 1 報 マッチ開発の歴史	75-97
米田昭二郎・関崎正夫：化学マッチの歴史的研究 第 2 報 日本におけるマッチの導入と展開	99-123
Shoichi OKABE: Alekseev Conferences, 7th (1994: June 1-3rd) Commemorative (1996: September 17-19th) Mikhail Pavlovich Alekseev (1896 – 1981) & Yurie Davidovich Levin (1920 –)	125-166

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	167
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	168
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	168
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	169-172

【第 29 号】1998 年 3 月 19 日発行

岡田 晃（金沢大学長/日本海域研究所長）：巻頭言

論 説

板垣英治：「ナホトカ」号重油流出による環境汚染と生物浄化：重油炭化水素分解細菌の検出と分離	1-12
石田 啓・斉藤武久・由比政年：ナホトカ号 C 重油流出災害と日本海の環境回復	13-32
石野久美子・杉本幹博：金沢市山科町東方の更新統大桑層の基底	33-49
Shinji TSUKAWAKI: Preliminary Results from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT95-14 Leg 2 in the Southern Marginal Area in the Japan Sea – Part II: Soft X-ray Observations of Cored Sediments –	51-65
Shinji TSUKAWAKI, Takahiro KAMIYA, Hirokazu OZAWA and Michio KATO: Preliminary Results on the Sediment Samplings during the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT96-17 Leg 2 in the Southwestern Part of the Japan Sea – Sediments, Benthic Foraminifers and Ostracodes –	67-90
清水 徹・西川政弘・塚脇真二：石川県金沢市北東部卯辰山～涌波地域の地質ーとくに下部更新統大桑層の岩相層序についてー	91-113

報告・資料

石田保之：北陸地方における中高年のための健康リズム棒体操	115-136
岡崎文明：哲学と実証科学	137-151
中野真理子・三輪真史・木下栄一郎・清水健美：医王山県立自然公園の植物相	153-180

記 事

金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿	181
金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿	182
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	182
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	183-186

【第 30 号】1999 年 3 月 8 日発行

岡田 晃（金沢大学長/日本海域研究所長）：巻頭言

論 文

- 杉本幹博・大中雅美・石野久美子：金沢市富樫丘陵における更新統大桑層－卯辰山層の浸食境界－…………… 1-16
- 酒寄淳史・久保田幸・杉本幹博：石川県の中新統七曲層中にみられる玄武岩質安山岩岩脈の K-Ar 年代と全
岩化学組成…………… 17-33
- 吉岡 勉・金山悟志・西井敏恭・塚脇真二：石川県金沢市北東部下涌波～田上地域の地質－とくに下部更新
統大桑層の岩相層序について－…………… 35-67
- 塚脇真二・浅野いずみ：表層堆積物の分布ならびに堆積相からみた石川県河北潟における堆積作用…………… 69-97
- Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA, Hanako DOMITSU, Yutaka TANAKA, Takahiro KAMIYA, Michio KATO
and Motoyoshi ODA: Preliminary Results from the R. V. *Tansei-maru* Cruise KT97-15 in the Eastern
Marginal Part of the Japan Sea off Tsugaru Peninsula, Northeast Japan – Sediments, Benthic and Planktonic
Foraminifers and Ostracods –…………… 99-139
- 中川登美雄・山本博文・松浦信臣：福井県北部加越台地の海成段丘堆積物から産出した貝化石…………… 141-149
- 石田 啓・斉藤武久・森井靖博：PIV を用いた人工リーフ周りの速度ベクトル場に関する可視化実験…………… 151-160
- 奥田晴樹：石川県の割地慣行と近代的土地所有…………… 161-170

総 説

- 本浄高治：重金属と指標植物－自然環境の回復－…………… 171-193

短 報

- 鮎野義夫：最終氷期と後氷期（過去 7 万年の間）における日本海の海水準変化－南部沿海州沖大陸棚の地質
学的データによる推論－…………… 195-199
- 石川卓弥・富樫一：白山においてミズキより採集された樹上性ゴミムシ類，オトシブミ類，及びゾウムシ類
…………… 201-204

資 料

- Shoichi OKABE: St. Petersburg and Pushkin House (Institute of Russian Literature)…………… 205-246
- 石田保之：金沢における「いわゆる腰痛症」のためのリズム棒体操－その北陸地方における普及をめざして－
…………… 247-263

記 事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 265
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 266
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 266
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 267-270

【第 31 号】2000 年 3 月 10 日発行⁽³⁾

林 勇二郎（金沢大学長/日本海域研究所長）：巻頭言

論 文

- 前田崇志・富井康博・西山暢一・西下知彦・加藤道雄・塚脇真二：石川県金沢市東部東原～蕪如地域の地質…………… 1-31
- 杉本幹博・濱高一：金沢市角間町周辺における更新統大桑層－卯辰山層の浸食境界…………… 33-53
- 清水 徹：富山県小矢部市南西部における地質学的研究…………… 55-87
- Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA, Hanako DOMITSU, Takahiro KAMIYA, Michio KATO and Motoyoshi
ODA: Preliminary Results from the R. V. *Tansei-maru* Cruise KT98-17 in the Southwestern Marginal Part of
the Japan Sea – Sediments, Benthic and Planktonic Foraminifers, and Ostracodes –…………… 89-119
- 板垣英治：「ナホトカ」号重油流出による環境汚染と生物浄化Ⅱ漂着重油の分解と *Halomonas* 属重油炭化水素
分解細菌の分離とその性状及び同定…………… 121-133
- 石田 啓・由比政年・馬替敏治・榎田真也：正弦振動流中に設置された円柱に作用する流体力および周辺の
流況に関する数値解析…………… 135-153
- 石田保之：金沢市高砂大学院保健体育コース「中高年のための健康リズム棒体操」講座受講者の日頃の自覚

⁽³⁾ 誌名を「日本海域研究」に変更

【第30号】1999年3月8日発行

岡田 晃（金沢大学長/日本海域研究所長）：巻頭言

論文

- 杉本幹博・大中雅美・石野久美子：金沢市富樫丘陵における更新統大桑層一卯辰山層の浸食境界…………… 1-16
- 酒寄淳史・久保田幸・杉本幹博：石川県の中新統七曲層中にみられる玄武岩質安山岩岩脈の K-Ar 年代と全
岩化学組成…………… 17-33
- 吉岡 勉・金山悟志・西井敏恭・塚脇真二：石川県金沢市北東部下涌波～田上地域の地質—とくに下部更新
統大桑層の岩相層序について…………… 35-67
- 塚脇真二・浅野いずみ：表層堆積物の分布ならびに堆積相からみた石川県河北潟における堆積作用…………… 69-97
- Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA, Hanako DOMITSU, Yutaka TANAKA, Takahiro KAMIYA, Michio KATO
and Motoyoshi ODA: Preliminary Results from the R. V. *Tansei-maru* Cruise KT97-15 in the Eastern
Marginal Part of the Japan Sea off Tsugaru Peninsula, Northeast Japan – Sediments, Benthic and Planktonic
Foraminifers and Ostracods –…………… 99-139
- 中川登美雄・山本博文・松浦信臣：福井県北部加越台地の海成段丘堆積物から産出した貝化石…………… 141-149
- 石田 啓・斉藤武久・森井靖博：PIV を用いた人工リーフ周りの速度ベクトル場に関する可視化実験…………… 151-160
- 奥田晴樹：石川県の割地慣行と近代的土地所有…………… 161-170

総説

- 本浄高治：重金属と指標植物—自然環境の回復—…………… 171-193

短報

- 鮎野義夫：最終氷期と後氷期（過去7万年の間）における日本海の海水準変化—南部沿海州沖大陸棚の地質
学的データによる推論—…………… 195-199
- 石川卓弥・富樫一次：白山においてミズキより採集された樹上性ゴミムシ類、オトシブミ類、及びゾウムシ類
…………… 201-204

資料

- Shoichi OKABE: St. Petersburg and Pushkin House (Institute of Russian Literature)…………… 205-246
- 石田保之：金沢における「いわゆる腰痛症」のためのリズム棒体操—その北陸地方における普及をめざして—
…………… 247-263

記事

- 金沢大学日本海域研究所運営協議会委員名簿…………… 265
- 金沢大学日本海域研究所運営委員会委員名簿…………… 266
- 金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿…………… 266
- 金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿…………… 267-270

【第31号】2000年3月10日発行⁽³⁾

林 勇二郎（金沢大学長/日本海域研究所長）：巻頭言

論文

- 前田崇志・富井康博・西山暢一・西下知彦・加藤道雄・塚脇真二：石川県金沢市東部東原～蓮如地域の地質…………… 1-31
- 杉本幹博・濱高大一：金沢市角間町周辺における更新統大桑層一卯辰山層の浸食境界…………… 33-53
- 清水 徹：富山県小矢部市南西部における地質学的研究…………… 55-87
- Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA, Hanako DOMITSU, Takahiro KAMIYA, Michio KATO and Motoyoshi
ODA: Preliminary Results from the R. V. *Tansei-maru* Cruise KT98-17 in the Southwestern Marginal Part of
the Japan Sea – Sediments, Benthic and Planktonic Foraminifers, and Ostracodes –…………… 89-119
- 板垣英治：「ナホトカ」号重油流出による環境汚染と生物浄化II漂着重油の分解と *Halomonas* 属重油炭化水素
分解細菌の分離とその性状及び同定…………… 121-133
- 石田 啓・由比政年・馬替敏治・榎田真也：正弦振動流中に設置された円柱に作用する流体力および周辺の
流況に関する数値解析…………… 135-153
- 石田保之：金沢市高砂大学院保健体育コース「中高年のための健康リズム棒体操」講座受講者の日頃の自覚

⁽³⁾ 誌名を「日本海域研究」に変更

的身体健康度と健康リズム棒体操実施の効果	155-171
矢ヶ崎孝雄：猪害防除に有効な長芒種の総合的考察	173-192
富樫一：アマニュウ（セリ科）の訪花昆虫について	193-195
資 料	
上野善道：金沢方言の後部 1 拍複合名詞のアクセント資料	197-218
記 事	
金沢大学日本海域研究所委員会委員名簿	219
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	219
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	220-223

【第 32 号】2001 年 3 月 30 日発行⁽⁴⁾

論 文

Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA, Hanako DOMITSU, Keiji HIRANO, Takashi MAEDA, Yasuhiro TOMII, Saneatsu SAITO, Xuedong XU, Takahiro KAMIYA, Michio KATO and Motoyoshi ODA: Preliminary Results from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT99-14 in the Central and Northeastern Marginal Parts of the Japan Sea – Sediments, Benthic and Planktonic Foraminifers and Ostracodes – (Part I. Surface Sediments)	1-27
堀 雄貴・陰地章仁・塚脇真二：石川県金沢市南部大桑～山川地域の地質	29-53
塚脇真二・浅野いずみ：富山県南部黒部湖湖底堆積物の分布ならびに組成	55-67
楳田真也・馬替敏治・由比政年・小清水信生・石田 啓：波・流れ共存場中の円柱に作用する流体力に関する数値解析	69-76
Vladimir PONOMAREV, Dmitrii KAPLUNENKO and Hajime ISHIDA: Centennial and Semi-Centennial Climatic Tendencies in the Asian Continental and Pacific Marginal Areas	77-89
Vladimir PONOMAREV, Olga TRUSENKOVA, Serge TROUSENKOV and Hajime ISHIDA: Complex Principal Component Analysis of Sea Surface Temperature in Respect of Climatic Oscillations in the Northwest Pacific Region	91-115
川原 英・矢島孝昭：サクラゴカイ（仮称） <i>Euzonus arcticus</i> GRUBE の生活史と分布	117-123
石田保之：中高年のための健康リズム棒体操講座 8 年の成果と市民の健康体操への一考察	125-138
小林謙一：北陸地方の縄紋時代前期末葉から中期前葉における土器編年の問題	139-156
Shoichi OKABE: The First Performance of <i>Hamlet</i> in Russia	157-181

記 事

金沢大学日本海域研究所委員会委員名簿	183
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	183
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	184-187

【第 33 号】2002 年 3 月 13 日発行

論 文

富井康博・前田崇志・塚脇真二：石川県辰口町～小松市北部地域における地質学的研究	1-21
樽見哲史・塚脇真二：石川県金沢市北東部加賀朝日～桐山地域の地質	23-41
Shinji TSUKAWAKI, Junichiro KURODA, Hirokazu OZAWA, Takahiro KAMIYA, Michio KATO and Motoyoshi ODA: Onboard Results from Sediment Samplings of the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT00-14 in the Southwestern Marginal Part of the Japan Sea and KT00-17 in the Northeastern Marginal Part of the East China Sea	43-55
宮島昌克・佐々木伸安・北浦 勝：1799 年金沢地震における地盤震動分布と起震断層の推定	57-65
宮島昌克・南野慎也・北浦 勝：2000 年石川県西方沖地震に関するアンケート調査－震度分布と地盤の関係－	67-76
唐 寧・小操征司・渡辺有梨・田畑勝弘・Vasilii F. MISHUKOV・Valentine SERGINEKO・鳥羽 陽・木津良一・早川和一：ウラジオストク、富山及び金沢における大気中多環芳香族炭化水素の比較	77-86

⁽⁴⁾ サイズを A4 版に変更

矢島孝昭・山田和孝：スガイの殻に対するカイゴロモの付着選択に関する現場実験	87-93
黄 光偉・石田 啓：金沢における熱環境評価に関する研究	95-100
中島光浩・由比政年・石田 啓：高次ブジネスク型方程式の特性とその広域波数領域における波動解析への適用性	101-109
板垣英治：加賀藩の火薬 1. 塩硝及び硫黄の生産	111-127
板垣英治：加賀藩の火薬 2. 黒色火薬の製造と備蓄	129-144
奥田晴樹：連合村の形成—石川県吉野谷の事例—	145-154
上野善道：金沢方言の後部 1 拍複合名詞のアクセント規則	155-174
総 説	
鮎野義夫：ロシア沿海地方の地質要略	175-189
Shoichi OKABE: Shakespeare Studies in Russia – from Sumarokov (1717 – 1777) through Storozhenko (1836 – 1906) –	191-228
資 料	
佐々 学・墨田迪彰・田中英文：石川県下の湖沼に発生するユスリカについて	229-232
金沢大学総務部研究協力課：金沢大学における日本海域に関する研究活動	233-237
記 事	
金沢大学日本海域研究所委員会委員名簿	239
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	239
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	240-243
【第 34 号】2003 年 3 月 31 日発行	
論 文	
板垣英治：「舎密性現象ハ必ズ「モルキュレ」ノ「フォリウムレ」ヲ以テ徴スベシ」明治 4 年に金沢藩御雇蘭人医師, P. J. スロイスが行った化学講義	1-15
Keiichi KAWABATA: Seasonal Change in Abundance of Zooplankton in Kahoku-gata	17-21
藤井昭二・麻柄一志・藤 則雄・邑本順亮・中村俊夫・吉井亮一・森 勇一：“魚津埋没林”とその成因	23-41
安野敏勝：石川県中島町から産出した中新世コイ科魚類化石とその意義	43-53
Shinji TSUKAWAKI: Preliminary Results from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT99-14 in the Central and Northeastern Marginal Parts of the Japan Sea (Part II. Depositional Facies of P-9 Core from the Yamato Bank)	55-65
鈴木 聡・藤田洋平・小島 淳・塚脇真二：石川県金沢市北部不動寺～津幡町南部浅田地域の地質	67-99
Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA and Akihito Ooji: Preliminary Results from Sediment Sampling of the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT01-14 in the Southwestern Marginal Part of the Okhotsk Sea and the Northeastern Marginal Part of the Japan Sea	101-111
高瀬信忠：九頭竜川支川真名川流域を対象とした溪流環境整備に関する研究	113-117
馬替敏治・榎田真也・由比政年・瀬川和也・石田 啓：波・流れ共存場における円柱に作用する流体力に及ぼす流れの入射角の影響	119-130
中嶋光浩・由比政年・間瀬 肇・石田 啓：碎波減衰および任意反射境界を考慮した修正ブジネスクモデルに関する基礎的研究	131-141
奥田晴樹：昭和戦前期における石川県の町村指導	143-149
Vyacheslav KOCHETKOV and Yasuhiro IJIMA: Comparative Analysis of Internet Users as in Factor of Establishment Information Society in Japan Sea Rim Countries	151-164
総 説	
鮎野義夫：バルセーネフ博士の日本海形成史論	165-183
資 料	
神谷浩夫・濱名拓郎：石川県における一般廃棄物処理と広域化	185-203
上野善道・新田哲夫：金沢方言の 5 拍以上の動詞・形容詞のアクセント資料	205-229
記 事	
金沢大学日本海域研究所委員会委員名簿	231
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	231

金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	232-235
---------------------	---------

【第35号】2004年3月4日発行

論文

板垣英治：金沢藩御雇蘭人医師 P. J. A. スロイスの「究理学」講義：特に「エレキ論」と「マク子ート論」から	1-20
宮島昌克・福永智之・北浦 勝：歴史的建造物を対象とした市街地の地震火災延焼危険度評価の試み—金沢市におけるケーススタディー—	21-28
富樫一次：シヨウブアブラムシ <i>Shizaphis rotundiventris</i> (Signoret) をめぐる昆虫群集	29-31
Hirokazu OZAWA, Takahiro KAMIYA, Michio KATO and Shinji TSUKAWAKI: A Preliminary Report on the Recent Ostracodes in Sediment Samples from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT01-14 in the Southwestern Okhotsk Sea and the Northeastern Japan Sea off Hokkaido	33-45
Keiichi KAWABATA: Diel Change in Abundance of Zooplankton in Kahoku-gata	47-52
田中源吾・塚脇真二・陰地章仁：石川県金沢市南部下～中部中新統砂子坂層から産出した介形虫化石群（予報）	53-63
陰地章仁：石川県金沢市南部小立野～上辰巳地域における地質学的研究	65-107
池本敏和・山下順也・長井俊樹・西川隼人・宮島昌克・北浦 勝：短周期微動に基づく金沢市域における地盤構造の推定	109-116
酒寄淳史・中田朋子・奥村博之・林信太郎：金沢市の戸室火山における溶岩の分布—田島城跡溶岩ドームの発見—	117-124
奥田晴樹：石川県の地押調査	125-147
Olga TKACHENKO: Russian Monetary Policy and Foreign Exchange System under Transition to the Market Economy	149-164

短報

高瀬信忠：福井県の魚見川を事例とした自然を生かした川づくりについて	165-168
-----------------------------------	---------

資料

大串龍一・中村浩二・高田兼太・宇都宮大輔・滝本陽介・大脇 淳・赤石大輔・高橋 久・川原奈苗・石原一彦：金沢城公園の動物相（1999～2000年）	169-172
--------------------------------------------------------------------------	---------

記事

金沢大学日本海域研究所委員会委員名簿	173
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	173
金沢大学日本海域研究所所員・研究員名簿	174-176

【第36号】2005年3月31日発行⁽⁵⁾

林 勇二郎（金沢大学長）：金沢大学と日本海域研究

論文

奥田晴樹：地方改良運動期の住民組織と神社—石川県の事例から—	1-19
板垣英治：石川県専門学校での化学教育	21-34
馬替敏治・榎田真也・由比政年・石田 啓：高波浪下における非対称振動流中に設置された柱状構造物に作用する流体力の数値解析	35-42
高地 健・榎田真也・巽龍太郎・富澤洋介・川崎秀明・石田 啓：新型水車の揺動羽の挙動および流体力に関する数値解析	43-54
中谷 健・由比政年・石田 啓：楕円型チャネル内における泥流定常波の特性に関する理論および数値解析	55-62
墨田勉彰・渡辺仁治・南 俊博：富山県上市町の湧水群の DAipo	63-67
Shinji TSUKAWAKI, Akifumi OHTAKA, Gengo TANAKA and Masaharu WATANABE: Preliminary Results from Sediment Sampling of the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT03-10 in the Eastern Marginal Part of the Japan Sea off Akita and Niigata Prefectures	69-81

⁽⁵⁾ 表紙デザインを変更

林紀代美：手取川の遡上サケの活用に関する考察	83-94
------------------------	-------

資 料

上野善道：青森市方言の複合名詞要素のアクセント資料	95-134
---------------------------	--------

記 事

金沢大学日本海域研究所規程	135-136
金沢大学日本海域研究所細則	137-139
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	140
金沢大学日本海域研究所施設委員会委員名簿	140

【第 37 号】2006 年 3 月 22 日発行⁽⁶⁾

林 勇二郎（金沢大学長）：日本海域研究とささやかな希望

論 文

奥田晴樹：石川県成立の歴史的考察	1-14
宮島昌克・北浦 勝・奥野洋平：白山における地震時の斜面崩壊危険性の評価	15-21
板垣英治：水の系統的定性分析法 A. C. ホルトルマン「実験科学」講義 藤本純吉筆記 講義録から	23-39
鄭 承衍：北東アジア開発銀行設立に向けた提言	41-51
中川登美雄・中川雄貴：福井県あわら市の海岸に打ち上げられた二枚貝に見られる捕食痕	53-59

資 料

上野善道：青森市方言後部 2 拍複合名詞のアクセント規則－資料編（1）－	61-99
--------------------------------------	-------

記 事

金沢大学日本海域研究所規程	101-103
金沢大学日本海域研究所細則	104-106
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	107
金沢大学日本海域研究所施設委員会委員名簿	107

【第 38 号】2007 年 3 月 1 日発行

長野 勇（日本海域研究所長/金沢大学理事）：日本海域研究の大きさ、広さ

論 文

大場秀章・秋山 忍・御影雅幸：環日本海域植物相に関する植物地理学的考察（1）	1-9
早川和宏・由比政年：石川海岸美川地区における沿岸砂州の変動	11-19
板垣英治：加賀藩旧蔵洋書の目録作成：壮猶館旧蔵洋書目録，卯辰山養生所旧蔵洋書目録，金沢医学館旧蔵洋書目録，加州軍艦所旧蔵洋書目録，加州弾薬所旧蔵洋書目録，加州海軍局文庫旧蔵洋書目録，および藩校「学校」旧蔵洋書目録と金沢学校旧蔵洋書目録 付録：石川県勸業博物館時代の蘭所目録	21-66

資 料

上野善道：青森市方言後部 2 拍複合名詞のアクセント規則－資料編（2）－	67-81
--------------------------------------	-------

記 事

金沢大学日本海域研究所規程	83-85
金沢大学日本海域研究所細則	86-88
金沢大学日本海域研究所編集委員会委員名簿	89
金沢大学日本海域研究所施設委員会委員名簿	89

【第 39 号】2008 年 3 月 1 日発行⁽⁷⁾

木村繁男（環日本海域環境研究センター長）：新しい組織に期待する

論 文

古内正美・塚脇真二・小河原俊也：日本海底質中の多環芳香族化合物の特性に関する予察的考察	1-8
谷口麻由佳・加藤道雄：能登半島七尾湾の現生底生有孔虫群集－群集の時間的变化に関する基礎的研究－	9-16
塚脇真二・陰地章仁：石川県金沢市ならびにその周辺地域の上部新生界層序	17-30

⁽⁶⁾ 英語誌名を「*Nihon-Kaiiki Kenkyu* (Annals of the Research Institute of the Japan Sea Region)」に変更（第 41 号まで）

⁽⁷⁾ 発行所を「金沢大学環日本海域環境研究センター地域研究領域」に変更

Hirokazu OZAWA and Shinji TSUKAWAKI: Preliminary Report on Modern Ostracods in Surface Sediment Samples Collected during R. V. Tansei-maru Cruise KT04-20 in the Southwestern Okhotsk Sea and the Northeastern Japan Sea off Hokkaido	31-48
鈴木信雄・小林史尚・又多政博・服部淳彦・伊藤 靖・大嶋雄治：能登半島沿岸の海水中のトリブチルスズ濃度測定と海洋細菌によるトリブチルスズの浄化の試み	49-53
池本敏和・西川隼人・宮島昌克・富樫 豊・北浦 勝・村田 晶：短周期微動を用いた富山平野における地盤構造の推定	55-61
板垣英治：スロイス動物学講義と D. Lubach の「動物学入門」	63-78
周 如軍：近代浙江省における手工製紙業の展開	79-89
短 報	
安野敏勝：京都府北部の中新統から産出したコイ科魚類咽頭歯化石	91-94
総 説	
八木 正：佐渡島；下層流民の歴史を語る	95-99
資 料	
上野善道：青森市方言後部 2 拍複合名詞のアクセント規則－資料編（3）－	101-116
記 事	
金沢大学環日本海域環境研究センター規程	117-119
金沢大学環日本海域環境研究センター地域研究領域細則	120-121
環日本海域環境研究センター地域研究領域編集委員会委員名簿	122
環日本海域環境研究センター地域研究領域会議委員名簿	122
【第 40 号】2009 年 3 月 10 日発行⁽⁸⁾	
論 文	
塚脇真二・伊藤恒平・谷 英治・浅井健史：金沢大学角間キャンパスの地質－地学散策/地層観察ルート策定のための基礎資料－	1-11
Yuichi SASAYAMA, Yoshihiro FUKUMORI, Hajime NAKABAYASHI and Nobuaki SHIMIZU: Detection of Sulfur Using an X-ray Analytical Microscope from the Trophosome of a Beard Worm, <i>Oligobranchia mashikoi</i> , Frenulate, Siboglinidae	13-18
煤田真也・石田 啓・玉井信行：福井豪雨における足羽川山間流域の洪水氾濫解析	19-30
畑 光彦・白 雲鶴・吉川文恵・福本将秀・大谷吉生・関口和彦・田島奈穂子・古内正美：金沢外環状道路近傍とトンネル内で採取されたナノ粒子の特性	31-36
早川和宏・由比政年・石田 啓：石川県千里浜海岸における海浜地形変化に関する基礎的研究	37-49
Akira MURATA, Masaru KITAURA and Masakatsu MIYAJIMA: Rocking Component of Earthquake Induced by Horizontal Motion in Irregular Form Foundation	51-57
Hong SUN, Masakatsu MIYAJIMA and Lei QIAO: Buried Pipeline Damage Caused by Soil Liquefaction under the Slope	59-64
田中一郎・伊室英生：北陸地方における工作機械工業の実態調査と成立条件の調査研究	65-75
周 如軍：近代江西省における手工製紙業の展開	77-90
板垣英治：石川県甲種医学校の医学教育 医学教科書と参考書から医学教育を見る	91-103
板垣英治：村上義茂訳書「舍密明原」とその原典, ベルゼリウス著仏訳「化学提要」J. J. Berzelius, Traité de Chimie Minérale, Végétale et Animale. Bruxelles (1838)	105-114
奥田晴樹：初期石川県の郡村統治	115-126
短 報	
渡辺 慧・青木賢人：被災危険度の差によるハザードマップの認知・活用の差異－石川県梯川流域住民の場合－	127-133
畑 光彦・白 雲鶴・古内正美・福本将秀・大谷吉生・関口和彦・田島奈穂子：金沢角間地区におけるナノ大気エアロゾル粒子の現状と各種粒子捕集装置の粒子分級特性の比較検討	135-140

⁽⁸⁾ 発行所を「金沢大学環日本海域環境研究センター」に変更

資 料

- Shinji TSUKAWAKI: Surface Sediment Samples of the Japan Sea and the Surrounding Seas Collected by R/V
Tansei-maru and Kanazawa University (1995 to 2005) 141-153
上野善道：青森市方言後部 2 拍複合名詞のアクセント規則—資料編 (4) — 155-168

【第 41 号】2010 年 3 月 23 日発行

論 文

- 鈴木信雄・矢澤一良・渡部和郎・繁森英幸・山田昭浩・畠 伸彦・田中雅子・前 成美・矢野純博・稲葉信
策・中間俊彦・笹山雄一：イカの皮に存在する生理活性物質及び色素 1-5
井下田寛・加藤秀夫・中村浩二：奥能登に飛来したコウノトリ (*Ciconia boyciana*) の生息環境と行動 7-14
Hirokazu OZAWA: Preliminary Report on Occurrence of the Middle Pleistocene Ostracods from the Shichiba
Formation on Sado Island at the Eastern Japan Sea, Central Japan 15-36
周 如軍：近代福建省における手工製紙業の展開 37-51
板垣英治：加賀藩の火薬 III. 土清水薬合所関係の新史料：木炭，硫黄箱，アラ・ケン筒薬，水銀と雷管，ド
ンドル銃，洋式火薬生産試験，幕末期の鉄砲火薬の化学分析など 53-67
板垣英治：加賀藩の火薬 IV. 加賀藩・鈴見鋳造所と鉄砲 69-87

資 料

- 御影雅幸・米倉浩司・池田 博・伏見直子・秋山 忍・大場秀章：ロシア沿海州で採集された植物リスト
—金沢大学 21 世紀 COE プログラム成果報告— 89-97
上野善道：青森市方言後部 2 拍複合名詞のアクセント規則—資料編 (5) — 99-113

記 事

- 日本海域研究投稿規定 115-120

【第 42 号】2011 年 3 月 10 日発行

論 文

- Mitsuko ASADA, Hajime NAKABAYASHI and Yuichi SASAYAMA: Microscopic Observation of Ito Cells Present in
the Livers of Several Species of Teleosts 1-8
黒崎弘司・由比政年・石田 啓：画像情報を活用した海浜地形変動の簡易モニタリングシステムの構築と珠
洲市鉢ヶ崎海岸への適用 9-25
北村敬一郎・中野 淳・川部季美・早川和一・佐藤雄亮・根本 鉄・大嶋雄治・島崎洋平・遠藤雅人・服部
淳彦・鈴木信雄：自動面積測定法によるキンギョのウロコを骨のモデルとしたアッセイ法の改良 27-34
板垣英治：加賀藩の火薬 V. 鈴見鋳造所の場所と施設規模 35-48
板垣英治：加賀藩の火薬 VI. 鈴見鋳造所，鋳物師釜屋弥吉史料による御筒，御玉鋳造の記録 49-75
米田昭二郎：日本マッチ工業の開拓者 清水誠 新史料に基づく業績の再評価 77-94

翻 訳

- 行 龍・郝 平・常 利兵・馬 維強・李 嘎・張 永平 (弁納才一訳)：山西省農村調査報告(1)—2009 年 12 月，
P 県の農村— 95-112

資 料

- 弁納才一：華北農村訪問調査報告 (3) —2009 年 12 月，山西省 P 県の農村— 113-121

記 事

- 日本海域研究投稿規定 123-128

【第 43 号】2012 年 3 月 19 日発行⁽⁹⁾⁽¹⁰⁾

論 文

- 酒寄淳史：石川県の史跡末松庵寺跡における塔心礎の岩石学的性質- 塔心礎に使われている岩石は戸室石
か? 1-8
笠木哲也・大宮正太郎・木村一也・金子洋平・本間航介・湯本貴和・中村浩二：能登半島と佐渡島における

⁽⁹⁾ 現在の表紙デザインに変更

⁽¹⁰⁾ 英語誌名を「Japan Sea Research」に変更

ハナバチ類の種組成と分布	9-17
Minh Hai DANG, Shinya UMEDA, Ryousuke MATSUDA, Masatoshi YUHI: Influence of Anthropogenic Activities on the Lower Totori River, Japan	19-34
板垣英治：加賀藩の火薬 VII. 鈴見鑄造所の反射炉	35-44
板垣英治：August Johann Rösel von Rosenhof DE NATUURLYKE HISTORIE DER INSECTEN, レーゼン著, クリーマン編訳, 「昆虫の自然史」について	45-60
周 如軍：近代中国における紙傘の生産をめぐって	61-74
短 報	
Shinji TSUKAWAKI, Hanako DOMITSU and Motoyoshi ODA: Preliminary Results from the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT99-14 in the Central and Northeastern Marginal Parts of the Japan Sea (Part III: Depositional Facies of P-11 Core from the Yamato Bank)	75-86
Shinji TSUKAWAKI, Hanako DOMITSU, Yasuyuki FUKAYA, Masami FURUUCHI, Kotaro KAMADA, Takahiro KAMIYA, Michito KUMAKIRI, Takahiro MURASE, Takeo SAKANO, Tadahisa SEIKAI and Yoshie TAKAHASHI: Preliminary Results from Sediment Sampling of the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT05-9 in the Central and Southwestern Parts of the Japan Sea, the Yamato Bank, off Wakasa Bay and off Kurobe River, Central Japan	87-96
Shinji TSUKAWAKI, Hirokazu OZAWA and Akihito OOJI: Preliminary Results from Sediment Sampling of the R. V. <i>Tansei-maru</i> Cruise KT04-20 in the Southwestern Marginal Part of the Okhotsk Sea and the Northeastern Marginal Part of the Japan Sea off Hokkaido, North Japan	97-108
総 説	
由比政年・楳田真也：石川県沿岸域における津波災害の軽減に向けて：東北地方太平洋沖地震津波および日本海歴史津波の教訓と課題	109-121
資 料	
堀内美緒・中村浩二：聞き書き資料：能登半島熊木川最上流に位置する須久保の 1960 年代以前の里山利用	123-132
記 事	
日本海域研究投稿規定	133-138
【第 44 号】2013 年 3 月	
論 文	
笠木哲也・中村浩二：加賀地方の標高傾度に沿ったハナバチ相の比較	1-9
金岡克文：中国非流通株改革の帰結	11-23
板垣英治：加賀藩の火薬 VIII. 三州海岸の台場築造に関する調査・研究	23-38
板垣英治：加賀藩の火薬 IX. 17 箇所の台場の規模と砲備の研究	39-55
周 如軍：近代中国における紙関連製品の生産について	57-69
武田公子・横山壽一・久保美由紀・小柴有理江・神崎淳子：過疎集落の生活実態にみる政策課題－珠洲市内三集落調査より－	71-93
短 報	
野村進也・笠木哲也・木村一也・中村浩二：再生した谷津田とため池における水生昆虫の初期定着状況について	95-98
資 料	
堀内美緒・中村浩二：聞き書き資料：輪島市町野町金蔵における昭和初期～昭和 40 年代（1920 年代後半～1970 年代前半）の棚田と里山の利用・管理	99-115
寄 稿	
岩坂泰信：研究フィールドとしての環日本海域：研究センターが担う役割を考える	117-129
記 事	
日本海域研究投稿規定	131-136

【第45号】2014年3月19日発行

特集：環日本海域環境研究センター設立10周年記念国際シンポジウムー環境研究の拠点としての10年間、
そして、これからー

早川和一・塚脇真二：環日本海域環境研究センター設立10周年記念国際シンポジウムの概要…………… 1-2

第1部：環日本海域環境研究センターの10年

木村繁男・中村浩二：自然計測応用研究センターと環日本海域環境研究センターの10年…………… 3-5

柏谷健二・山本政儀：ユーラシア東部における現在の地表プロセスと長期環境変動ー自然計測領域地球環境
計測研究部門ー…………… 7-9

木村繁男・塚脇真二・松木 篤：環境における「流れ」の役割とその解明ー自然計測領域エコテクノロジー
研究部門ー…………… 11-14

木下栄一郎・鈴木信雄・関口俊男・中村浩二：環日本海域における生物多様性研究の10年ー自然計測領域生
物多様性研究部門ー…………… 15-17

清水宣明・山田外史・田中茂雄・柿川真紀子：環境刺激の生体利用と生体計測技術の研究ー自然計測領域生
体機能計測研究部門ー…………… 19-26

柏谷健二：東アジアにおける研究拠点の形成ー国際的情報発信と研究ネットワークー環境情報領域ー…………… 27-28

塚脇真二：金沢大学日本海域研究所と「日本海域研究」ー地域研究領域ー…………… 29-33

第2部：これからの環日本海域環境研究センター

長尾誠也・長谷部徳子・福士圭介・井上睦夫・濱島靖典・山本政儀：環日本海域から解明する地球環境シス
テムー自然計測領域地球環境計測研究部門ー…………… 35-38

松木 篤・木村繁男・塚脇真二：広域大気汚染の解明と国際的観測網への貢献ー自然計測領域エコテクノロジー
研究部門ー…………… 39-43

鈴木信雄・関口俊男・木下栄一郎・中村浩二：生物多様性を基盤にした環境学研究ー自然計測領域生物多様
性研究部門ー…………… 45-47

田中茂雄・柿川真紀子：健康環境を支える生体医用工学の発展を目指してー自然計測領域生体機能計測部門ー…………… 49-53

柏谷健二：東アジアにおける環境研究ネットワークの展開ーモンゴル、中国、韓国、台湾からの提
言：環境情報領域ー…………… 55-56

塚脇真二・全 希永・Peou HANG：東アジアの中の環日本海域ー地域研究の拠点としての地域研究領域ー…………… 57-60

早川和一：これからの環日本海域環境研究センター…………… 61-62

論文

東野外志男・中川重紀・小川義厚・田村糸子：石川県ー福井県北部海岸平野のボーリングコア中の鬼界アカ
ホヤ火山灰…………… 63-74

板垣英治：壮猶館翻訳方芝木昌之進と「ハルレー地球万国暦史」について…………… 75-88

板垣英治：加賀藩の火薬 X、鉄砲の一統洋式化と改造異風筒…………… 89-103

資料

染井正徳：食糧増産と地球温暖化阻止に役立つ地球の薬「ソムレ」…………… 105-120

記事

日本海域研究投稿規定…………… 121-126

【第46号】2015年3月31日発行

論文

木村一也・笠木哲也・中村浩二：能登半島の農業景観とアオサギの採餌場所の季節変化の関係…………… 1-8

板垣英治：大野弁吉著「一東視窮録 製薬 上」の舎密学関係事項の出典の調査・研究…………… 9-26

金岡克文：世界金融危機以降の人民元国際化の進展とその限界性…………… 27-41

短報

笠木哲也・宇都宮大輔・Windra PRIAWANDIPUTRA・中村浩二：外来植物が在来植物とハナバチ類の係
及ぼす影響…………… 43-48

荒木祐二・岡村浩美・塚脇真二：奥能登地域の学校教育における栽培体験活動の現況：世界農業遺産の継承
に向けて…………… 49-55

翻訳・翻刻

板垣英治：宇田川榕菴著「舎密開宗」続編「消石説」：その翻刻と翻訳及び伊藤圭介著『萬宝叢書硝石篇』との比較研究…………… 57-78

黒田 智・鳥谷武史・吉岡由哲・石垣孝芳・林 亮太・小早川裕悟：史料紹介 宝集寺所蔵「高野大師行状図画」…………… 79-93

総 説

仁宮一章・高橋憲司：イオン液体を用いた里山バイオマスリファイナリー…………… 95-106

福士圭介：モンゴル古代湖沼堆積物から認められたモノハイドロカルサイト：古環境指標・環境浄化材料としての役割…………… 107-123

記 事

日本海域研究投稿規定…………… 125-130

【第 47 号】2016 年 3 月 22 日

論 文

Noboru NUNOMURA: A New Species of the Genus *Amakusanthura* (Crustacea: Isopoda: Anthuridae) Collected from Yuya Bay, the Sea of Japan Side of Yamaguchi Prefecture, Western Japan…………… 1-8

Trinh Chung NGUYEN, Masatoshi YUHI and Takuya UENO: Comparison of Regional Wave Climate along the Sea of Japan Coast…………… 9-28

池森貴彦・東出幸真・坂井恵一：石川県の七尾西湾におけるアマモ類の分布域と季節的特徴…………… 29-33

鏗塚典子・吉田国光：重要伝統的建造物群保存地区における景観保全活動の展開－富山県高岡市金屋町の事例－…………… 35-47

板垣英治・寺西一栄：大野弁吉著「一東視窮録 製菓 上」のからくり人形図と大砲図の調査・研究…………… 49-69

島 英浩・吉田国光：地方都市中心部における買物環境をめぐる課題－石川県金沢市長土堀地区の事例－…………… 71-84

短 報

板垣英治：新史料「辰巳上水図」絵図の調査・研究…………… 85-90

林紀代美・青木賢人：石川県の沿岸地区における津波への防災意識・行動の特徴と課題…………… 91-104

記 事

日本海域研究投稿規定…………… 105-110

【第 48 号】2017 年 3 月 28 日

論 文

浦田 慎・松本京子・清本正人・松原道男・鈴木信雄：能登町の小学校授業におけるウニの発生実験の活用…………… 1-8

Noboru NUNOMURA: A new species of the genus *Cymodoce* (Crustacea: Isopoda: Sphaeromatidae) from Tobishima, Yamagata Prefecture, the Sea of Japan…………… 9-16

Trinh Chung NGUYEN, Masatoshi YUHI and Takuya UENO: Seasonal Variability of Wave Characteristics and Related Morphological Indices at the Kaetsu Coast, Ishikawa, Japan…………… 17-28

鳥谷武史・吉岡由哲・黒田 智・山野 晃：史料紹介 金沢承証寺・高岸寺の板戸絵…………… 29-43

青木賢人・林紀代美：多様な自然環境を有する自治体における住民の防災意識について－石川県白山市におけるアンケート調査に基づいて－…………… 45-55

短 報

嘉瀬井恵子：地域らしさの再考－奥能登地域を事例として－…………… 57-61

資 料

井上睦夫・藤本 賢・森田貴己：日本海放射能調査および海洋研究への適用－中央水産研究所「蒼鷹丸」調査航海を例にとって－…………… 63-70

報 告

弁納オー・古泉達矢：台湾における日系企業等への再訪記録－2016 年 3 月－…………… 71-79

記 事

日本海域研究投稿規定…………… 81-86

【第 49 号】2018 年 3 月 26 日発行

論 文

- Suthida PIRIYAKARNSAKUL, Kaoru TAKARADA, Mitsuhiko HATA and Masami FURUUCHI: An Investigation of the Time Dependency for the Staining Process of Microbes: Key Behavior of Microbes for Bio-aerosol Online Monitoring..... 1-10
- 荒木祐二・長岡一樹・塚脇真二：奥能登地域の人工林にみられる下層植生の地理的差異..... 11-21
- 金岡克文：沖縄自由貿易地域の展開..... 23-37
- 嘉瀬井恵子：祭礼自粛運動と向き合った時代－石川県珠洲市を事例として－..... 39-47
- 弁納才一：日中全面戦争勃発前後における山東省農村経済の変動－惠民県孫家廟荘を例として－..... 49-65

資 料

- Noboru NUNOMURA: On Specimens of *Phreatosellus kawamurai* (Tattersall) (Crustacea: Malacostraca: Isopoda: Asellidae) Collected from a Lava Tube of Matsue, Shimane Prefecture 67-76

報 告

- 古泉達矢・弁納才一：台湾における日系企業等への再訪記録－2017 年 2～3 月－ 77-87
- 弁納才一：華北農村訪問調査報告（12）－2016 年 9 月，雲南省・河北省・山西省 89-98

記 事

- 日本海域研究投稿規定..... 99-104

【第 50 号】2019 年 3 月 22 日発行

論 文

- Noboru NUNOMURA: A New Species of the Genus *Detonella* (Crustacea: Isopoda: Detonidae) from Rishiri Island, Hokkaido, the Sea of Japan..... 1-6
- 弁納才一：日中戦争時期における山東省 3 ヶ村の経済発展に関する分析..... 7-23
- 青木賢人・林紀代美：防災・減災を扱う教員研修の実態..... 25-34

資 料

- 嘉瀬井恵子：河北潟の利用にみる合意形成プロセスに関する一考察..... 35-44

報 告

- 弁納才一：華北農村訪問調査報告(13)－2017 年 9 月，山西省－ 45-54

記 事

- 金沢大学日本海域研究所報告/日本海域研究 総目次（第 1 号～第 50 号） 55-79
- 日本海域研究投稿規定..... 80-85

（編集：塚脇真二・青木あい・小川琴美）